



質問順 / 番

PM 3:32分後

令和5年8月22日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 (8 番)

中尾 理明



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第61条第2項の規定により質問の通告をいたします。

記

質問事項	質問要旨 (具体的に)	質問の相手
1 トスク若桜店閉店後の買い物手段について	(1) 7月11日、東宝企業がトスク全店舗継承を断念したと報道された。町は、「かいものわかさ瓦版」で、「これまで東宝企業と培ってきた検討の成果を活かし、新たな企業に引き継いでもらえるようアプローチを行なっている」と伝えているが、そのアプローチ(交渉)はどのように進められているのか伺います。	町長
	(2) 閉店後の買い物手段について、若桜町など関係市町の喫緊の課題であるが、鳥取県が積極的に支援をいただいていることに対し、敬意を表すると共に、問題解消に向け、引き続きの支援を望むものである。その一つとして、トスク撤退問題が発生後立ち上げられた鳥取県及び農協、関係自治体との協議は、どのように継続されているか伺います。	町長
	(3) トスク閉店の9月末まで、残りわずかとなった。若桜町民のニーズに応える事業者が見つからない場合も想定した対策が必要であると考えますが、あらためて所見を伺います。	町長

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質問の相手
2 脱炭素社会形成に向けた町の取り組みについて	<p>（1）令和4年12月6日開催の総務産業教育民生常任委員会において、「トヨタ新大阪販売ホールディングス（株）との連携事業」として、トヨタによる町内保有の山林を活用した「木質バイオマス発電事業」を行なう提案があり、町は、トヨタと県やウッディ若桜、企画政策課、経済産業課で、検討・協議中との説明を受けた。また、令和5年6月14日の同常任委員会において、「三峰川電力（株）による小水力発電の調査について」として、吉川川(岩屋堂地上手)の小水力発電のポテンシャルを検討する調査をするため、関係する岩屋堂自治会との同意のもと、調査を進めている旨の説明があった。其々の進捗状況を伺います。</p>	町 長
	<p>（2）これら事業は、脱炭素社会形成へ向けた取り組みであり、その事業目的には異を唱えるつもりはない。しかし、全国的に風力発電等の事業化の過程で、自然破壊や住民の意向に反する事業が強行されようとして、問題が発生した事例があとを絶たない。常任委員会説明の両事業について、そのような問題はないのか伺います。</p>	町 長
	<p>（3）2020年9月定例会で、当時の町長と農林建設課長は、若桜町木質バイオマス総合利用計画に基づく推進組織として、地域内エコシステム検討協議会を令和元年立ち上げ、木質バイオマス資源の地域内循環システム構築を実現するために協議を始めていると答弁された。その後の活動状況を伺うと共に、常任委員会説明の両事業について、協議会の協議事項となっているか伺います。</p>	町 長
	<p>（4）昨今の石油価格高騰は、改めて自然エネルギー利用の重要性が確認された。氷太くんの空調の動力であるチップボイラーについて、チップに対する石油価格との差額補填は、改善されているかどうか伺います。</p>	町 長

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質問の相手
3 町内のラジオ放送聴取困難について	<p> 昨年の議員座談会で、町民からAM、FMともラジオ音声 が聴取困難で、防災面でも問題なので難聴解消を求め るとの意見が出された。議員座談会のまとめの内、「町に 対する意見」に上げられている。主としてNHK放送への 意見であると思うが、現在町内では、NHK第2放送は全 滅、民放も聴取が困難である。またNHK第1放送及びNH KのFM放送両方共聴取が困難な地域がある。放送業界 では、2028年をめざし、主として民放がAMからFMへ の一元化を目指して準備が進められているとのことであ る。NHKもその動向を視野に入れた対応をされているよ うに感じる。災害時の停電に対応する大切な手段の一つ がラジオ放送である。若桜町のラジオ難聴地域解消につ いて、所見を伺います。 </p>	町 長